

社会保険労務士のむら事務所通信

2016秋号
発行人：野村祐輔
2016年10月1日発行
第3号

ボウリングレッスンと 社会保険労務士としてのセミナー開催

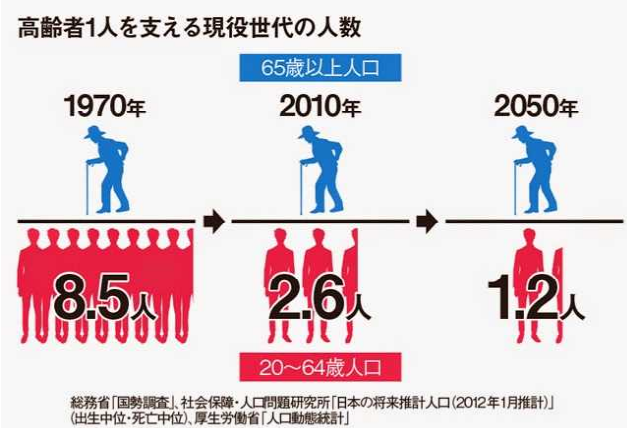
“プロボウラー”が野村の
もうひとつの顔です

年金が破綻するのでは？という誤解

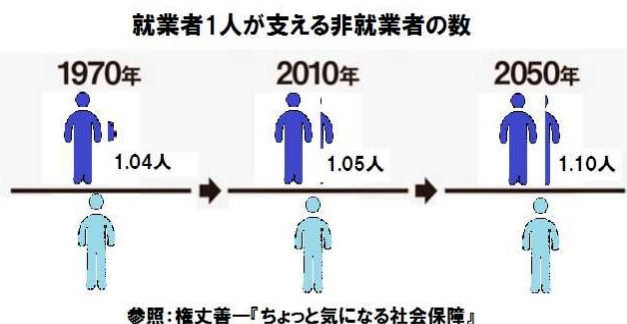
年金は将来破綻するのではないか？

社会保険労務士をしていると、よく受ける質問のひとつです。特に最近は社会保険の適用逃れの会社に対しての指導が厳しくなっているようで、ご相談がちょくちょくあるのですが、その際に必ず社長さんが口にする言葉の一つです。

右上の図を見てください。皆さんもよく見かけられる高齢者1人を支える現役世代の人数の表です。神輿型（1970年）→騎馬戦型（2010年）→肩車型（2050年）と揶揄されることも多い表です。これを見ると、近い将来、給料の半分ぐらいを社会保険料に持って行かれる時代がいずれ来るのではないかと、そして受け取る年金は雀の涙程度になり、果たして私たちの老後は大丈夫なのか？と誰もが疑心暗鬼になってしまいます。そういう悪評もあるからでしょか？未だ国民年金の納付率は70%にもなっていないのが現状です。



しかし、右下の図を見てください。高齢者と現役世代の比率としてではなく、高齢者に年少者や専業主婦を含めた”非就業者”と”就業者”という観点からの比率を見てみると、全く違う様相が見えてきます。どうですか？ほぼほぼ将来にわたってその変化は軽微な増加程度のもと考えられているのです。つまり働いている人が働いていない人を支えるという、ごくごく正常な社会の見方をすると、変化は緩やかであり、これにより社会が破綻するという可能性は考えられないのは一目瞭然！それでも少子高齢化社会というこの大きな変化に対しては対応が必要だから、様々な施策が必要というのが現状なのでしょう。



それからもうひとつ。今の高齢者は支払った年金の数倍の支払いを受けているのに、これからの若い人は支払った額に似合うだけの年金が貰えない可能性があり、世代間に不公平が起きているという人もいます。それもまあ誤解です。だって1970年代と今の物価を比べてみてください。JR) 山手線1区間：30円→140円、高卒の初任給は5万9200円→14万2100円（2014年）と約40年前とは物価は約3~4倍になっているのです。払った額をそのまま支給だと今の物価では高齢者は生活できませんよね。不公平がないとは言いませんが、言われているように大きなものではありません。巷ではセンセーショナルな考え方が話題になりますし流布されやすいのですが、あまり私たちはそれに惑わされないようにしたいものです。

春に日本プロボウリング協会主催（後援：埼玉県）の健康ボウリング教室を春日部ターキーボウルさんにて開催したことは以前もお伝えしましたが、その後も、アルソアKOSUGGE様、ねりま異業種交流会様とたて続けにボウリングレッスンを行わせていただきました。レッスン会に参加された皆様が今後もボウリングを運動不足解消！健康維持！ストレス解消！の為に楽しんで頂けると幸いです。これからも地域内においていくつかボウリングレッスン会を行う予定です。



また社会保険労務士のお仕事としてのセミナーも行いました。去る9月14日に練馬区のCOCONERI（ココネリ）にて『未払い残業代請求問題について』という内容でセミナーを開催させていただきました（右写真）。

”未払い残業代請求”問題は”過払い金請求”の次に弁護士・司法書士が照準を合わせているといわれています。過払い請求の落ち着く来年ぐらいから、徐々にその広告も増えてゆくことと思います。この問題は実はどの企業にも起こりえる、まるで”地雷”のような問題で、会社の経営にも大きくかかわってくる問題です。セミナーは近々、地元久喜でも行う予定ですので、興味のある方はぜひご参加下さい。

年金の受給資格が10年に短縮

政府は9月26日の臨時閣議で、年金の受給資格を得るのに必要な保険料納付期間を25年から10年に短縮する関連法案を決定しました。国会で法案が成立すれば、来年10月から支給を始めることになります。これは以前、消費税率の10%への引き上げと同時に年金受給資格の短縮を実施する予定でしたが、消費税引き上げ延期で一時実施が不透明になっていました。これにより新たに約64万人が年金を受け取れるようになります。来年10月に9月分を支給、それ以降は偶数月に2カ月分を一括支給の運びとなります。



つぶやき

伊勢に行ってきました。二見興玉神社から伊勢神宮外宮、猿田彦神社から伊勢神宮内宮に参拝。私の両親の出身がともに伊勢なので、それぞれのご先祖様のお墓参りと親戚巡り。日程の詰まったかなり忙しい旅行でしたが、その中で猿田彦神社の脇にある近代女性日本画家の伊藤小坡美術館にお邪魔し、ゆったりとした時間を過ごさせていただきました。美術館の静寂の空間は好きです。今年は大行列の伊藤若冲展も行きましたし、日本画鑑賞がマイブームになりつつあります。